



取扱説明書

DuraVision® FDS1903-A

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

ユーザー登録のお願い

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、ユーザー登録をお願いいたします。

登録方法：次の当社Webサイトにアクセスし、ご登録ください。

www.eizo.co.jp/registration

絵表示について

本書では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
|  | 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。 |
|  | 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。 |
|  | 注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。 |
|  | 禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。 |
|  | 行為を強制したり指示するものです。 |

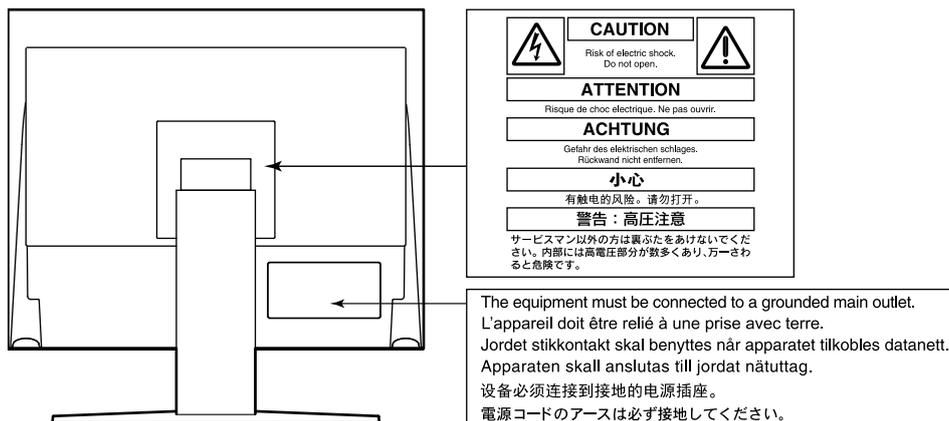
-
1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。
-

使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

警告表示位置



警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



分解しない、製品を改造しない

この製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

この製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、この製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く
- 直射日光が直接製品に当たる場所
- 可燃性ガスのある環境
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境
- ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



付属の電源コードを使用し、100VAC電源に接続して使用する

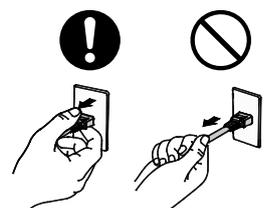
付属の電源コードは日本国内100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

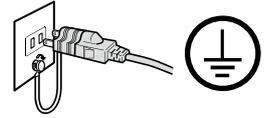


警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界放射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

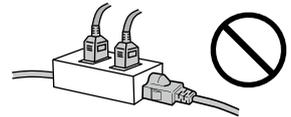
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
- タコ足配線



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。設置する前に、アームやスタンドを固定する机や壁などに十分な強度があるか確認してください。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のねじを使用し、確実に固定してください。



リモコン用電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れ、やけどの原因となります。

- 分解や加熱をしたり、濡らしたり、ショートさせたりしない。
- 電池の取り付け、交換は正しくおこなう。
- 電池を交換する場合は、同じ種類・型番の電池を使う。
- 2本以上使用する製品での交換は、同じ種類・銘柄の新しい電池を使う。
- プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れる。
- 被覆にキズの入った電池は使用しない。
- 廃棄時は地域指定の「電池回収箱」などへ入れる。



リモコン用電池は子供の手の届かないところに置く

電池を誤って飲み込むと窒息や中毒の原因となります。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



注意

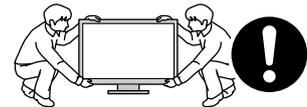
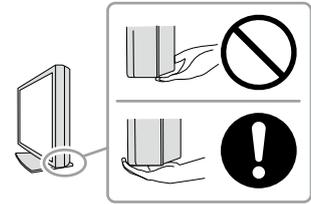
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



この製品を移動させるときは、正しい方法で移動する

- この製品を移動するときは、右図のように画面の下部をしっかりと持つ。
 - 30インチ以上のモニターの場合、開梱や持ち運びは必ず2人以上でおこなう。
- 落としたりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺、モニターの通風孔は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源コンセントから電源プラグも抜く



モニターについて

この製品は、監視カメラ画像表示用途に適しています。

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If the product is used outside the region, it may not operate as specified in the specifications.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、輝度を下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.8）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押ししたり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（別売オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。
-

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

| | | | |
|--------------------------|----|-------------------------------|----|
| 使用上の注意 | 3 | 第5章 管理者向け設定 | 26 |
| 重要 | 3 | 5-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法 | 26 |
| モニターについて | 7 | 5-2. 「管理者設定」メニューの各機能 | 27 |
| クリーニングの仕方 | 8 | 第6章 こんなときは | 28 |
| モニターを快適にご使用いただくために | 8 | 6-1. 画面が表示されない場合 | 28 |
| 目次 | 9 | 6-2. 画面に関する症状 | 28 |
| 第1章 はじめに | 10 | 6-3. その他の症状 | 28 |
| 1-1. 特長 | 10 | 第7章 ご参考に | 29 |
| 1-2. 梱包品の確認 | 10 | 7-1. アームを取り付ける | 29 |
| 1-3. 各部の名称と機能 | 11 | 7-2. 複数の外部機器を接続する | 30 |
| ● 本体 | 11 | 7-3. 仕様 | 31 |
| ● リモコン | 12 | 付録 | 33 |
| 第2章 接続 | 13 | 商標 | 33 |
| 2-1. 接続する | 13 | ライセンス | 33 |
| 2-2. 電源を入れる | 15 | 著作権 | 33 |
| 2-3. 高さ、角度を調節する | 15 | VCCI | 33 |
| 第3章 基本の調整 / 設定 | 16 | その他規格 | 33 |
| 3-1. ボタンの操作方法 | 16 | アフターサービス | 34 |
| ● 本体操作ボタンの場合 | 16 | | |
| ● リモコンの場合 | 16 | | |
| 3-2. 入力信号を切り替える | 17 | | |
| 3-3. 明るさを調整する | 17 | | |
| 3-4. 音量を調整する | 18 | | |
| 3-5. モニターガンマを調整する | 18 | | |
| 第4章 詳細な調整 / 設定 | 19 | | |
| 4-1. 設定メニューの基本操作方法 | 19 | | |
| 4-2. 設定メニューの各機能 | 20 | | |
| ● カラー調整 | 20 | | |
| ● 信号設定 | 22 | | |
| ● 本体設定 | 25 | | |
| ● 言語選択 | 25 | | |
| ● インフォメーション | 25 | | |

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 19.0型画面
- 解像度 SXGA (1280×1024) 対応
- 2種類の入力端子を搭載
 - HDMIコネクタ
PC / オーディオビジュアル機器対応
HDCP (著作権保護技術) により保護されたコンテンツを表示可能
 - BNCコネクタ
対応フォーマット NTSC、PAL、SECAM
- リモコンによる簡単操作、各種調整 / 設定が可能
- 24時間連続使用で2年間の長期保証

1-2. 梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、販売店または別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

参考

- 梱装箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

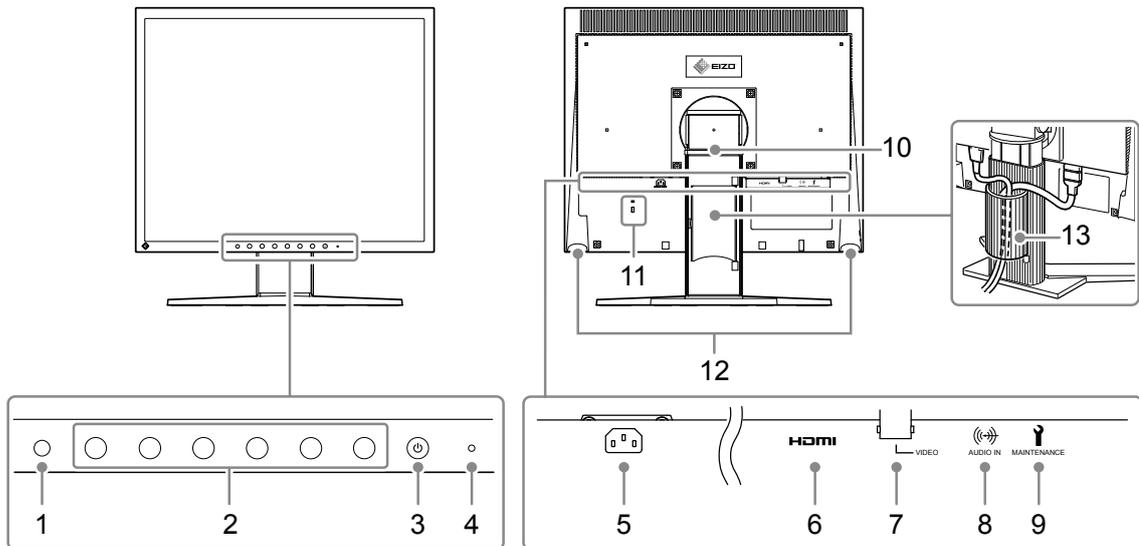
- モニター
- リモコン
- コイン型リチウム電池 (CR2032: 動作確認用)
- 電源コード (二芯アダプタ)
- 取扱説明書 (保証書付き)
- お客様ご相談窓口のご案内
- コネクタクランプ (HDMIケーブル固定用)

注意点

- 付属のコイン型リチウム電池は動作確認用です。別途、同型の電池を購入してご使用ください。

1-3. 各部の名称と機能

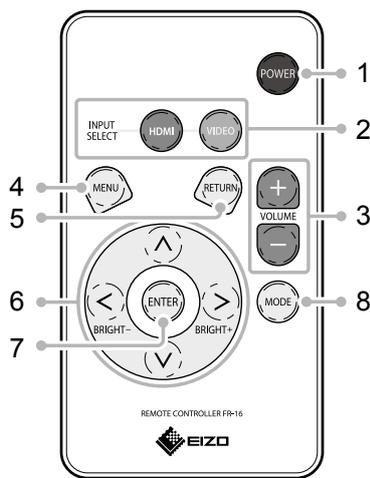
● 本体



| | | |
|----|------------------|---|
| 1 | リモコン受光部 | リモコンからの信号を受信します。 |
| 2 | 操作ボタン | メニューを表示します。操作ガイドに従って操作します。 |
| 3 | Ⓞ ボタン | 電源を入/切します。 |
| 4 | 電源ランプ | モニターの動作状態を表します。 青： 通常動作状態 橙： 省電力モード |
| 5 | 電源コネクタ | 電源コードを接続します。 |
| 6 | 信号入力コネクタ (HDMI) | HDMIコネクタ |
| 7 | 信号入力コネクタ (VIDEO) | BNCコネクタ |
| 8 | ステレオミニジャック | ステレオミニジャックケーブルを使って外部機器に接続すると、外部音声をモニターから出力できます。 信号入力コネクタ (VIDEO) に接続した信号を表示する場合に接続します。 |
| 9 | mini USB | メンテナンス用です。使用できません。 |
| 10 | スタンド※1 | 高さと角度が調整できます。 |
| 11 | 盗難防止用ロック | Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。 |
| 12 | スピーカー | 音声を再生します。 |
| 13 | ケーブルホルダー | ケーブルを収納します。 |

※1 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「7-1. アームを取り付ける」 (P.29) 参照）。

● リモコン

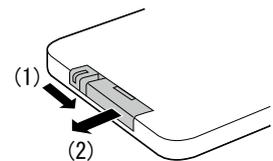


| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | POWER | 電源のオン/オフを切り替えます。 |
| 2 | INPUT SELECT | HDMI HDMI入力に切り替えます。 |
| | VIDEO | ビデオ入力に切り替えます。 |
| 3 | VOLUME | 音量設定画面を表示し、音量を調整します。 |
| 4 | MENU | 設定メニューを表示/終了します。 |
| 5 | RETURN | メニューが表示されているときに押すと、メニューの階層を1段階上げます。 |
| 6 | ◀ / ▲ / ▼ / ▶ | <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの項目を選択したり、設定値を選択/調整値を増減する場合に使用します。 設定メニュー非表示時に◀または▶を押すと、バックライトの明るさを調整できます。 |
| 7 | ENTER | 各メニューの設定/調整項目を決定する場合に使用します。 |
| 8 | MODE | ガンマ設定を切り替えます。 |

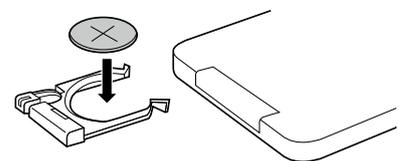
リモコンについて

● 電池の入れ方

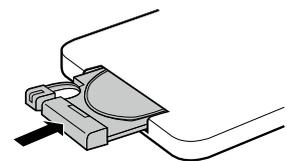
1. ツメを矢印の方向に押しながら (1)、電池ケースを引き出します (2)。



2. 「+ (プラス)」側を上にして、電池を入れます。(電池型番: CR2032)



3. カチッと音がするまで電池ケースを差し込みます。

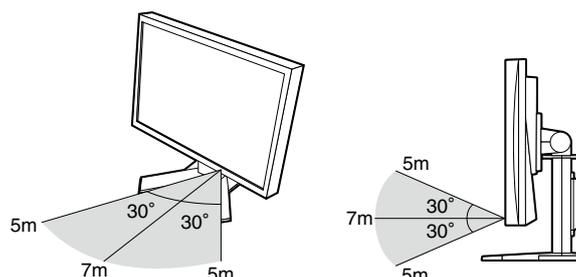


■ 注意点

・ 付属のコイン型リチウム電池は動作確認用です。別途、同型の電池を購入してご使用ください。

● リモコン受信範囲

リモコンは図の範囲から操作してください。



第2章 接続

2-1. 接続する

1. モニターの用途に応じて外部機器を接続します。

- ・ コンピュータまたはデジタル映像機器と接続する場合：P.13参照
- ・ アナログ映像機器と接続する場合：P.14参照

● コンピュータまたはデジタル映像機器と接続する場合

注意点

- ・ 今まで使用していたモニターをこの製品に置き換える場合、接続する前に次の表を参照して、コンピュータまたはデジタル映像機器の設定を必ずこの製品で表示できる解像度、垂直走査周波数に変更しておいてください。

対応解像度

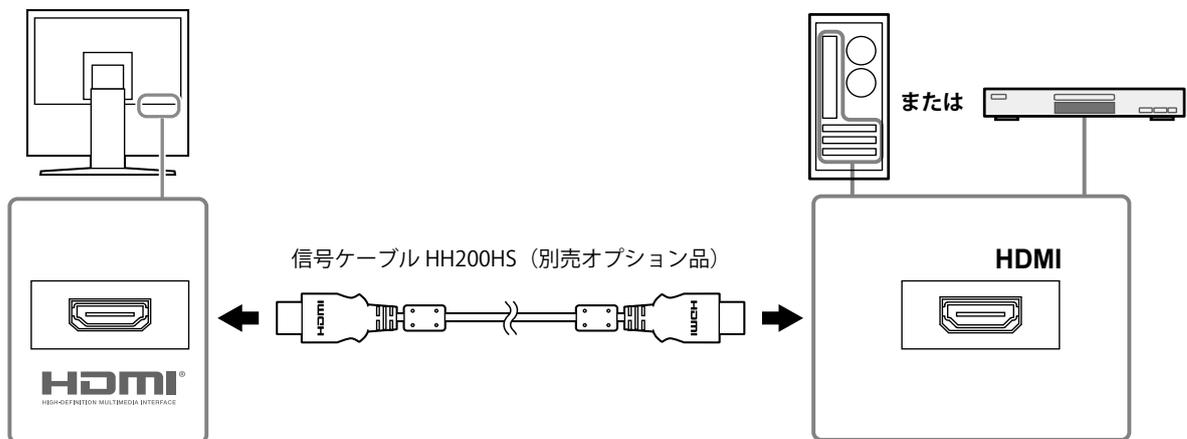
この製品は次の解像度に対応しています。

| 解像度 | 垂直走査周波数(Hz) | インターレース | プログレッシブ |
|-------------------------|-----------------|---------|---------|
| 640×480 | 59.94 / 60 | — | ✓ |
| 720×400 | 70 | — | ✓ |
| 720×480 | 59.94 / 60 | ✓ | ✓ |
| 720×576 | 50 | ✓ | ✓ |
| 800×600 | 60 | — | ✓ |
| 1024×768 | 60 | — | ✓ |
| 1280×720 | 50 / 59.94 / 60 | — | ✓ |
| 1280×960 | 60 | — | ✓ |
| 1280×1024 ^{※1} | 60 | — | ✓ |
| 1920×1080 ^{※2} | 50 / 59.94 / 60 | — | ✓ |

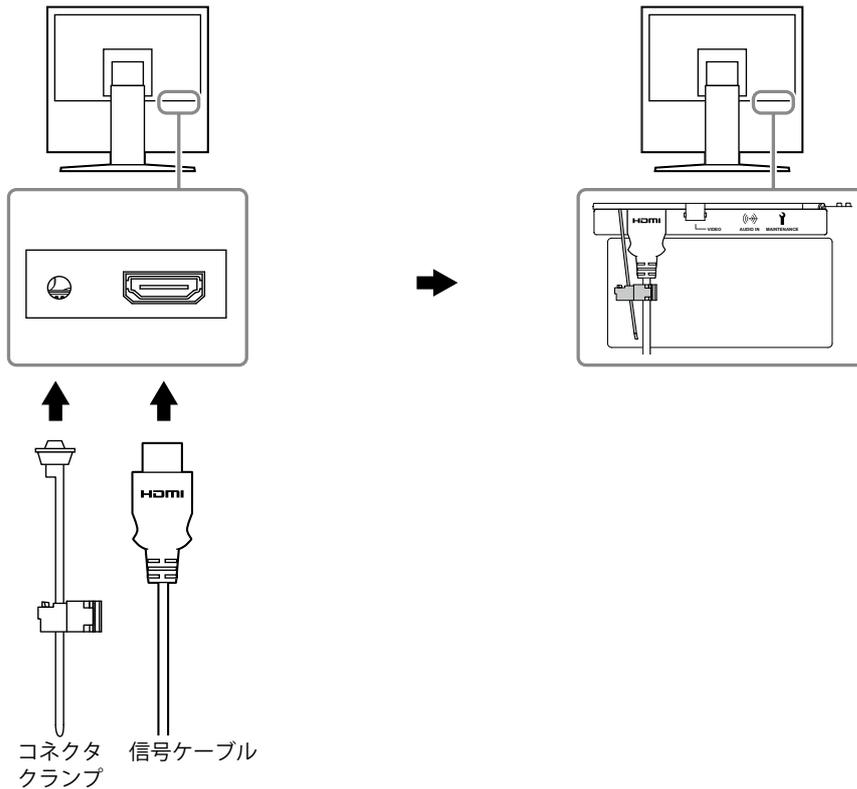
※1 推奨解像度です。（この解像度にしてお使いください。）

※2 縮小して表示されます。

1. コネクタに合った信号ケーブルを使って、コンピュータまたはデジタル映像機器とモニターを接続します。



2. 付属のコネクタクランプで信号ケーブルをモニターに固定します。

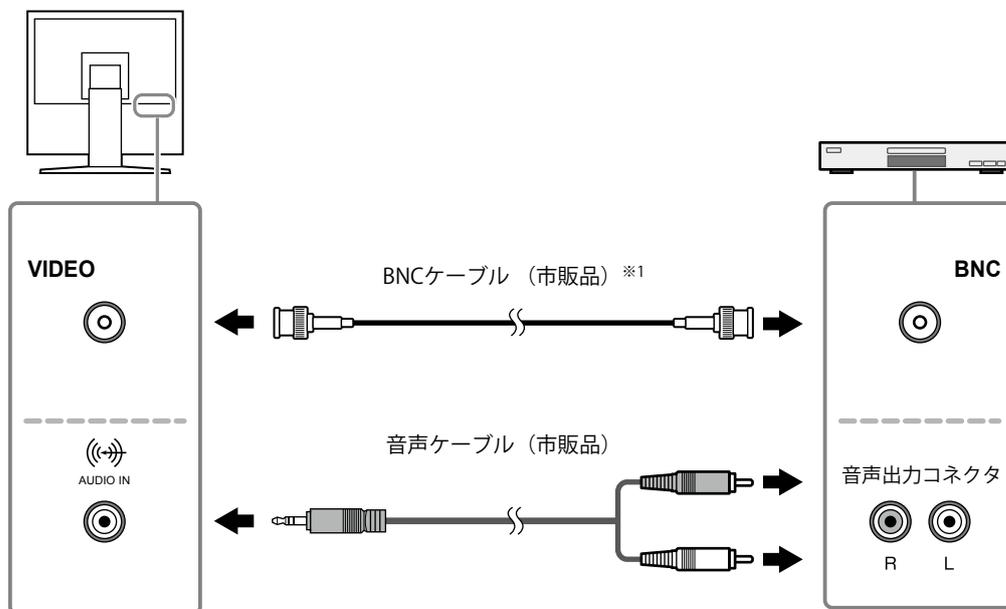


注意点

- HDMIケーブルで接続する場合、HDMIからの音声を出力します。

● **アナログ映像機器と接続する場合**

1. コネクタに合った信号ケーブルを使って、アナログ映像機器とモニターを接続します。



※1 アナログ映像機器の映像出力コネクタがRCAプラグの場合、BNC-RCA変換アダプタを使用して接続してください。

2. 電源コンセントに接続します。

付属の電源コードをモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

注意点

- ・ 使用後は、電源を切ってください。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

2-2. 電源を入れる

● 本体操作ボタンの場合

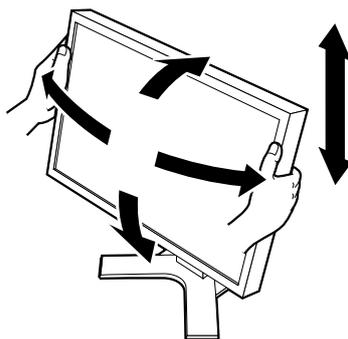
⏻ を押します。

● リモコンの場合

 を押します。

2-3. 高さ、角度を調節する

モニターの左右を両手で持ち、画面の高さや上下左右の角度を作業に適した状態になるように調整します。



注意点

- ・ ケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。

第3章 基本の調整 / 設定

この章では、モニター本体前面にある操作ボタンまたはリモコンのボタンを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。

設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については「第4章 詳細な調整 / 設定」(P.19)を参照してください。

3-1. ボタンの操作方法

● 本体操作ボタンの場合

1. メニューの表示

1. いずれかのボタンを押します (Ⓛを除く)。
操作ガイドが表示されます。
2. **MENU** を選択します。
設定メニューが表示されます。

2. 設定 / 調整

1. ▲▼でメニューを選択し、**ENTER**を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。
2. **ENTER**で設定 / 調整項目を選択し、◀▶または▲▼で設定 / 調整します。

3. 保存 / 終了

1. 設定 / 調整終了後 **ENTER** を選択すると、設定が保存されます。
2. 繰り返し **RETURN** を選択すると、設定メニューが終了します。

● リモコンの場合

1. メニューの表示

1.  を押します。
設定メニューが表示されます。

2. 設定 / 調整

1.   でメニューを選択し、 を押します。
調整 / 設定メニューが表示されます。
2.   で設定 / 調整項目を選択し、  または   で設定 / 調整します。

3. 保存 / 終了

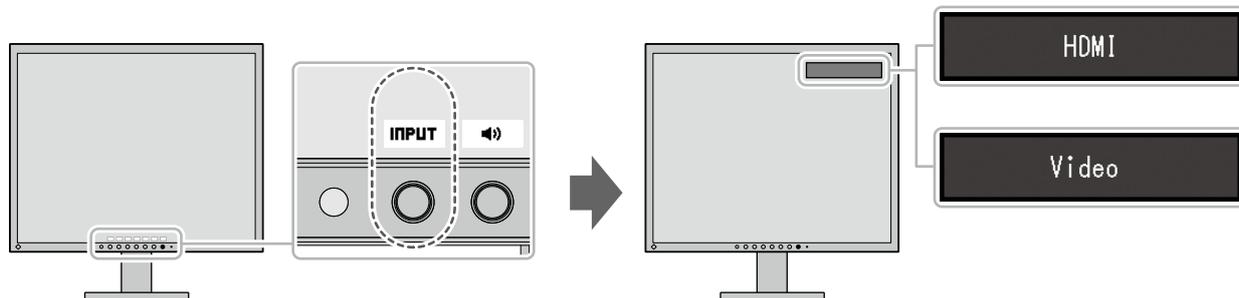
1. 設定 / 調整終了後  を押すと、設定が保存されます。
2.  を押すと、設定メニューが終了します。

参考

- ・ リモコンの  を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

3-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。
リモコンの **HDMI** または **VIDEO** を押しても、信号を切り替えられます。



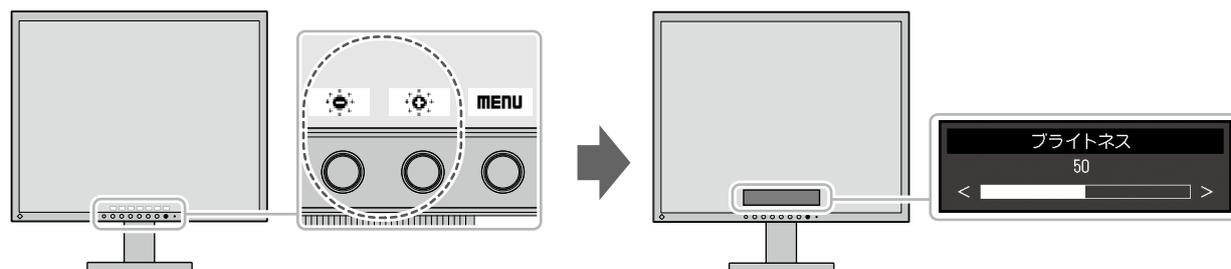
3-3. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

設定メニュー非表示時にリモコンの **BRIGHT-** または **BRIGHT+** を押しても、画面の明るさを調整できます。

設定値

0~100



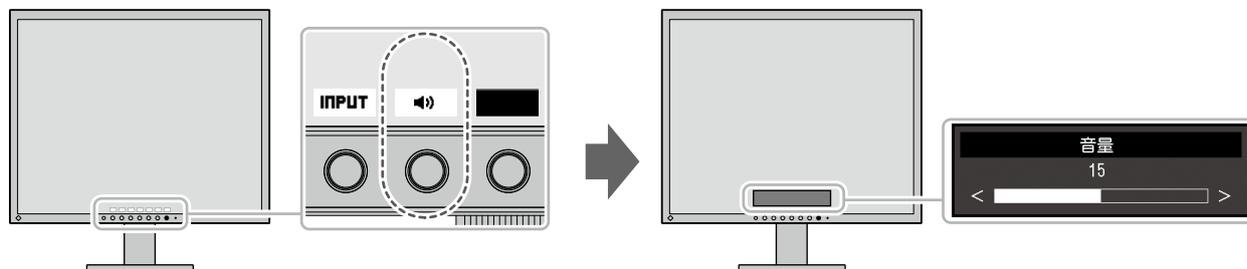
3-4. 音量を調整する

音量を調整できます。

リモコンの **(+)** または **(-)** を押しても、音量を調整できます。

設定値

0~30



3-5. モニターガンマを調整する

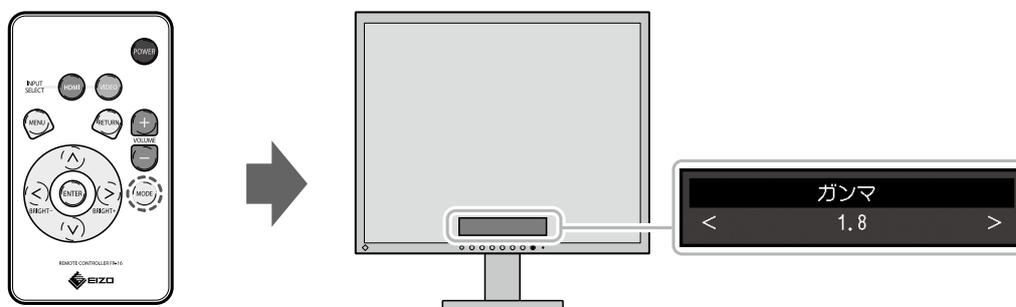
ガンマ値を調整します。

モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

リモコンの **(MODE)** を押すとメニューが表示され、設定を変更することができます。

設定値

1.8、2.0、2.2、2.4、ダイナミック



参考

- ・「ダイナミック」を選択すると低階調のコントラストを強調したメリハリある表示になります。

第4章 詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。基本的な機能については、「第3章 基本の調整 / 設定」(P.16)を参照してください。

4-1. 設定メニューの基本操作方法

ここでは、モニター前面のボタンを使った操作方法を説明します。リモコンのボタンを使った操作方法は、「3-1. ボタンの操作方法」(P.16)を参照してください。

1. メニューの表示

1. いずれかのボタンを押します (⏻を除く)。
操作ガイドが表示されます。
2. **MENU** を選択します。
設定メニューが表示されます。

2. 調整 / 設定

1. ▲▼で、調整 / 設定したいメニューを選択し、**ENTER** を選択します。
サブメニューが表示されます。
2. ▲▼で、調整 / 設定したい項目を選択し、**ENTER** を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。
3. ▲▼または◀▶で、調整 / 設定し、**ENTER** を選択して確定します。
サブメニューが表示されます。
調整 / 設定中に**CANCEL**を選択すると、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

3. 終了

1. **CANCEL** または **RETURN** を数回選択すると、設定メニューが終了します。

4-2. 設定メニューの各機能

● カラー調整

カラーの設定状態を、お好みに合わせて調整できます。

注意点

- ・ モニターの表示が安定するまでに約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- ・ モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

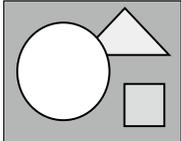
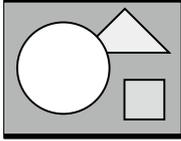
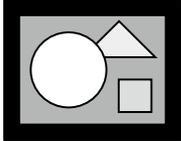
| 機能 | 説明 |
|--------|---|
| ブライトネス | バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。 設定値：0～100 参考 <ul style="list-style-type: none">・ ブライトネスが0でも明るいと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。 |
| コントラスト | ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。 設定値：0%～100% 参考 <ul style="list-style-type: none">・ 100%ですべての色階調を表示します。・ 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。・ コントラスト調整は次のような場合に使用してください。<ul style="list-style-type: none">- ブライトネスが0でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを100%以下に設定します。） |
| 色温度 | 色温度を調整します。 通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するとき用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。 炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。 設定値：Native、4000K～10000K（100K単位）、User 参考 <ul style="list-style-type: none">・ 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。・ 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。・ 「Native」で液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。・ ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。 |
| ガンマ | ガンマ値を調整します。 モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係がありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。 設定値：1.8、2.0、2.2、2.4、ダイナミック 参考 <ul style="list-style-type: none">・ 「ダイナミック」を選択すると低階調のコントラストを強調したメリハリある表示になります。 |

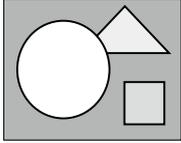
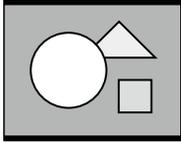
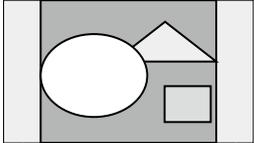
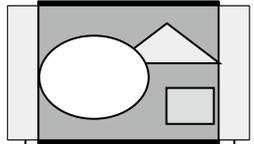
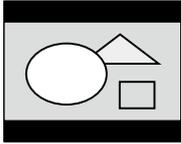
| 機能 | | 説明 |
|------|---------------------------|---|
| 詳細設定 | 色合い | 色合いを調整します。 設定値：-100～100 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 |
| | 色の濃さ | 色の濃さを調整します。 設定値：-100～100 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 最小値（-100）で白黒の画面となります。 |
| | ゲイン | 色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。 設定値：0%～100% 参考 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。 |
| リセット | 現在選択しているカラー調整値を初期設定に戻します。 | |

● 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。
各機能の設定値は、入力信号により異なります。

○：設定可 ー：設定不可

| 機能 | 入力信号 | | 説明 |
|-------|------|-------|--|
| | HDMI | Video | |
| 画面サイズ | ○ | ○ | <p>モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。</p> <p>設定値（HDMI）： 自動、フル、拡大、ノーマル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自動」 入力信号の解像度情報とアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 ・「フル」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 ・「拡大」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 ・「ノーマル」 設定した解像度そのまま、または入力信号のままの大きさで画像が表示されます。 <p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解像度が1920×1080の場合は、「フル」、「拡大」、「ノーマル」を設定しても縮小して表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定例 <ul style="list-style-type: none"> - 「フル」  - 「拡大」  - 「ノーマル」  |

| 機能 | 入力信号 | | 説明 |
|-------|------|-------|---|
| | HDMI | Video | |
| 画面サイズ | ○ | ○ | <p>設定値 (Video) : フル、4:3、16:9a、16:9b、16:9c</p> <ul style="list-style-type: none"> 「フル」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 「4:3」 4:3のアスペクト比を保ったまま、画面全体に画像を表示します。 「16:9a」 画像の縦を画面全体に表示します。16:9のアスペクト比を保ったまま表示するので、画像の左右の端は途切れて表示されます。 「16:9b」 16:9のアスペクト比を保ったまま、画像を表示します。画像の左右の端は途切れて表示されます。 「16:9c」 16:9のアスペクト比を保ったまま、画面全体に画像を表示します。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定例 <ul style="list-style-type: none"> - 「フル」  - 「4:3」  - 「16:9a」  途切れる部分 - 「16:9b」  途切れる部分 - 「16:9c」  |

○：設定可 ー：設定不可

| 機能 | 入力信号 | | 説明 |
|-----------|------|-------|---|
| | HDMI | Video | |
| カラーフォーマット | ○ | ー | <p>入力信号のカラースペースを指定できます。正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。</p> <p>設定値：自動^{※1}、YUV 4:2:2、YUV 4:4:4、RGB</p> |
| 入力レンジ | ○ | ー | <p>接続する機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、出力レンジを拡張して表示することができます。</p> <p>設定値：自動^{※1}、フル、リミテッド</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します。 「フル」 信号の出力レンジの拡張をおこないません。 「リミテッド」 信号の出力レンジ16～235を0～255に拡張して表示します。 |
| ノイズリダクション | ○ | ○ | <p>映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。</p> <p>設定値：オフ、弱、中、強</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。 |
| シャープネス | ○ | ○ | <p>画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。</p> <p>設定値：オフ、弱、中、強</p> |
| オーバースキャン | ー | ○ | <p>表示範囲（オーバースキャン率）を切り替えます。「オフ」を選択すると、入力映像のほぼすべてを画面に表示します。</p> <p>設定値：オフ、オン</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力信号によっては、画面の周辺部にノイズが見える場合があります。 |

※1 設定値を自動的に判別するための入力信号情報が検出された場合のみ有効

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。

| 機能 | 説明 |
|---------|--|
| Up View | 画面を下から見上げる場合の表示を補正し、正面からの見え方に近づけます。 設定値：オフ、-20°、-40° |
| パワーセーブ | コンピュータまたはデジタル映像機器の状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。 省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。 <ul style="list-style-type: none">省電力モードからの復帰方法 - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。 設定値：オン、オフ 参考 <ul style="list-style-type: none">省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。モニターを使用しないときは、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。 |
| オールリセット | 次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none">「管理者設定」メニュー内の設定 参考 <ul style="list-style-type: none">「管理者設定」メニューについては、「第5章 管理者向け設定」(P.26)を参照してください。 |

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語

● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号、解像度または信号フォーマット、入力信号）を確認できます。

第5章 管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。
このメニューは管理者用です。通常のモニター使用時には、設定の必要はありません。

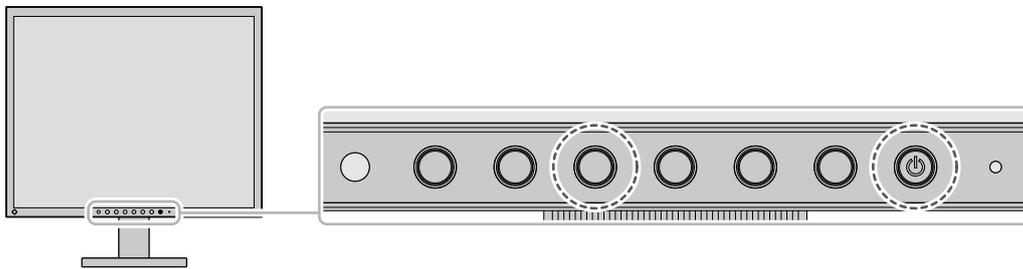
注意点

・リモコンでは操作できません。

5-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. ①を押して、モニターの電源を切ります。
2. 左から3番目のボタンを押しながら、①を2秒以上押してモニターの電源を入れます。



「管理者設定」メニューが表示されます。

2. 設定

1. ▲▼で、設定したい項目を選択し、**ENTER**を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。
2. ◀▶で、設定し、**OK**を選択します。
「管理者設定」メニューが表示されます。

3. 確定と終了

1. 「完了」を選択し、**ENTER**を選択します。
設定が確定し、「管理者設定」メニューが終了します。

5-2. 「管理者設定」メニューの各機能

| 機能 | 説明 |
|--------|--|
| 入力自動検出 | <p>信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。</p> <p>設定値：オフ、オン</p> <ul style="list-style-type: none">「オフ」 入力信号の選択を手動でおこないます。モニター前面の操作ボタン（INPUT）で表示する入力信号を選択できます。詳細は「3-2. 入力信号を切り替える」（P.17）を参照してください。「オン」 入力信号の選択を自動でおこないます。複数のコンピュータまたはデジタル映像機器を接続している場合に、コンピュータまたはデジタル映像機器の電源がオフになったり省電力モードに入ったりすると、自動的に他の信号を表示します。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none">この機能が「オン」に設定されている場合、すべてのコンピュータまたはデジタル映像機器の電源がオフになるか、省電力モードに入っている場合のみ、モニターの省電力機能が動作します。 |
| 起動ロゴ | <p>この製品の電源を入れると、画面にEIZOロゴが表示されます。 この機能を「オフ」に設定すると、EIZOロゴを非表示にすることができます。</p> <p>設定値：オン、オフ</p> |
| 操作ロック | <p>設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作ボタンをロックすることができます。</p> <p>設定値：オフ、メニュー、オール</p> <ul style="list-style-type: none">「オフ」 すべてのボタンが有効です。「メニュー」 MENU ボタンをロックします。「オール」 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 |

第6章 こんなときは

6-1. 画面が表示されない場合

| 症 状 | 原因と対処方法 |
|------------------------------|---|
| 1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない | ・電源コードは正しく接続されていますか。 ・リモコンの  を押すか、または本体操作ボタンの  を押してください。 ・電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 |
| ・電源ランプが点灯：橙色 | ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・入力信号を切り替えてみてください。 |
| ・電源ランプが点灯：青色 | ・外部機器の電源は入っていますか。 ・入力信号を切り替えてみてください。 ・「ブライトネス」、「コントラスト」の各調整値を上げてみてください（P.20参照）。 |

6-2. 画面に関する症状

| 症 状 | 原因と対処方法 |
|------------------------------------|---|
| 1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる | ・「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してみてください（P.20参照）。（液晶モニターバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。） |
| 2. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る | ・これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。 |
| 3. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押しした跡が消えない | ・画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。 |
| 4. 残像が現れる | ・この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 ・長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。 |

6-3. その他の症状

| 症 状 | 原因と対処方法 |
|---------------------|--|
| 1. 設定メニューが表示できない | ・操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ロック」（P.27）参照）。 |
| 2. 音が出ない | ・ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 ・音量が「0」になっていませんか。 ・コンピュータまたはデジタル映像機器および音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 ・信号入力コネクタ（HDMI）に接続した機器の映像を表示している場合は、ステレオミニジャックケーブルからの音声は出ません。 ・信号入力コネクタ（VIDEO）に接続した機器の映像を表示している場合は、HDMIケーブルからの音声は出ません。 |
| 3. 設定メニューの項目が選択できない | ・グレーの文字で表示されている項目は、変更できません。 |

第7章 ご参考に

7-1. アームを取り付ける

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。

www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものをお選びください。取り付けには本体部分とスタンドを固定しているねじをご使用ください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上60° 下45°（横表示）
 - 上45° 下45°（縦表示時、時計回り90°）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重いため、落としたりするとけがや故障の原因になります。

● 取付方法

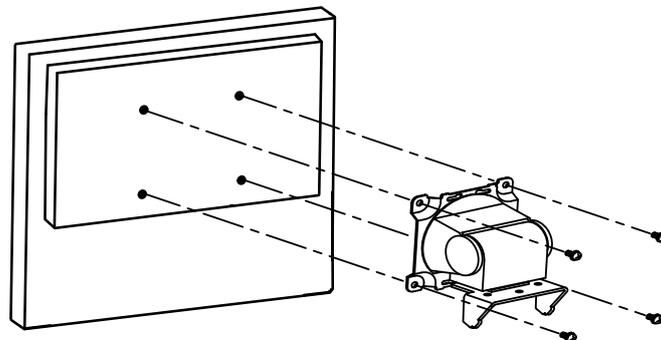
1. 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所にやわらかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. モニターをアームまたはスタンドに取り付けます。

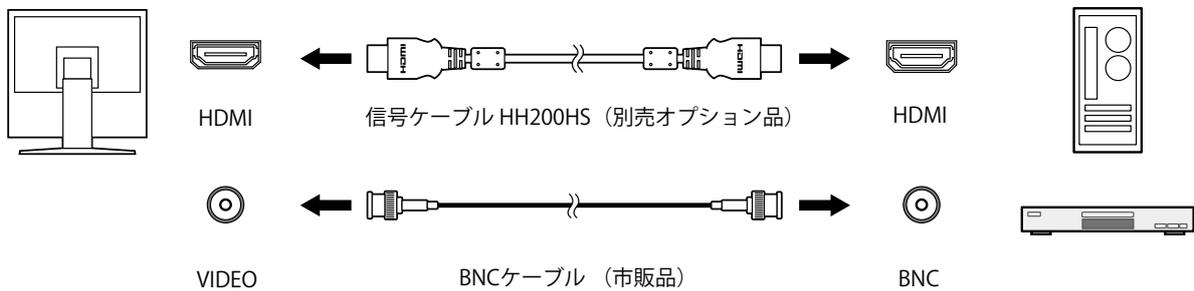
締め付けトルク：1.0 N・m～1.4 N・m



7-2. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



参考

- モニター前面の操作ボタン（ **INPUT** ）を選択するたびに入力信号が切り替わります。画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。
- この製品は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。詳細は「入力自動検出」(P.27) を参照してください。

7-3. 仕様

| | | |
|---------------|--------------|---|
| 液晶パネル | サイズ | 48.2cm (19.0インチ) 型 |
| | 種類 | TN バックライト：白色LED |
| | 表面処理 | アンチグレア |
| | 表面硬度 | 3H |
| | 視野角 | 左右170°、上下160° (CR≥10) |
| | ドットピッチ | 0.294 mm × 0.294 mm |
| | 応答速度 | 黒→白→黒：約10ms |
| 解像度 | | 1280ドット×1024ライン |
| 表示サイズ (水平×垂直) | | 376.3 mm × 301.1 mm |
| 最大表示色 | | 約1677万色 |
| PC入力 | 水平走査周波数 | 15kHz～68kHz |
| | 垂直走査周波数 | 50Hz～61Hz |
| | ドットクロック (最大) | 148.5MHz |
| | 信号入力コネクタ | HDMI (HDCP対応) ×1※1 |
| ビデオ入力 | 対応フォーマット | NTSC、PAL、SECAM |
| | 水平解像度 | 350TV本以上 |
| | 信号入力コネクタ | BNC×1 |
| | 信号レベル | 1.0Vp-p/75Ω |
| 音声 | スピーカー出力 | 0.5W+0.5W |
| | 信号入力コネクタ | ステレオミニジャック×1 |
| | 音声入力フォーマット | HDMI：2chリニアPCM (32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz) |
| 電源 | | AC100V～240V±10%、50/60Hz、0.40A-0.25A |
| 消費電力 | 画面表示時 | 23W以下 |
| | 省電力モード時 | 2.5W以下 (1系統入力時、音声ケーブル非接続時) |
| | 電源オフ時 | 0.4W以下 (1系統入力時) |
| 寸法 | 本体 | 405.0mm (幅) × 406.5～506.5mm (高さ) × 205.0mm (奥行き) |
| | 本体 (スタンドなし) | 405.0mm (幅) × 334.0mm (高さ) × 61.5mm (奥行き) |
| 質量 | 本体 | 約5.9kg |
| | 本体 (スタンドなし) | 約4.1kg |
| 可動範囲 | チルト角度 | 上30° 下0° |
| | スウィーベル角度 | 右35° 左35° |
| | 縦回転 | 右回り90° |
| 環境条件 | 温度 | 動作温度範囲：0℃～40℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～60℃ |
| | 湿度 | 動作湿度範囲：20%～80% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲：10%～92% R.H. (非結露状態) |
| | 気圧 | 動作気圧範囲：540hPa～1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa～1060hPa |

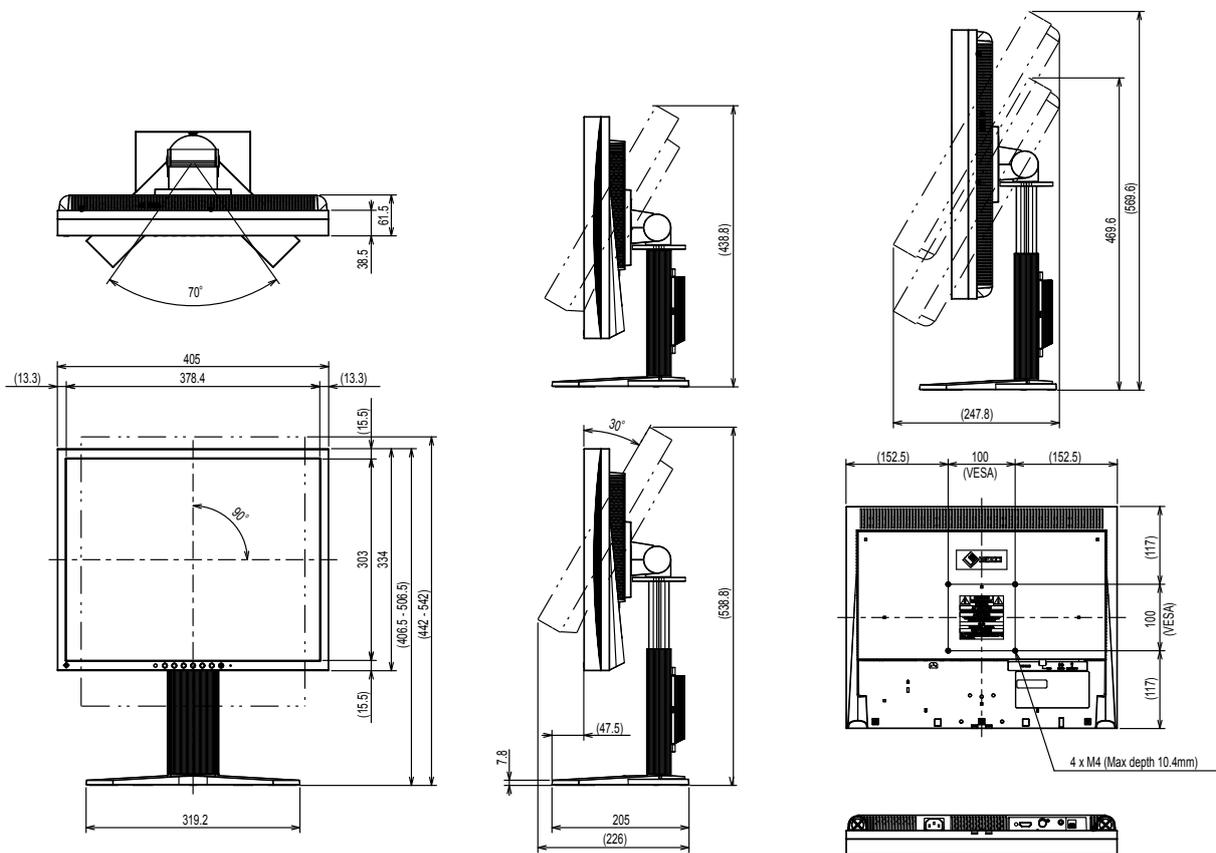
※1 HDMI CEC機能 (相互制御機能) には対応していません。

主な初期設定値

| 機能 | HDMI | Video |
|-----------|-------|-------|
| ブライトネス | 65 | |
| 音量 | 7 | |
| ガンマ | 2.2 | |
| コントラスト | 100% | |
| 色温度 | 6500K | |
| 画面サイズ | 自動 | フル |
| カラーフォーマット | 自動 | — |
| 入力レンジ | 自動 | — |
| オーバースキャン | — | オフ |
| Up View | オフ | |

外観寸法

単位：mm



付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

著作権

営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、送信されてくる映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。

VCCI

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-A

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。

当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。

回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。

(www.eizo.co.jp)

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

| 製品名 | 保証期間 |
|-----------------------|----------------------|
| DuraVision® FDS1903-A | お買い上げの日より 2年間 |

記入欄

| | |
|----------|-----------------------------------|
| フリガナ | 製造番号 (S/N) |
| お名前 様 | 製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。 |
| TEL () | お買い上げ年月日 年 月 日 |
| 〒 ご住所 | 販売店の住所、店名 |

保証規定

- この製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無償で故障箇所の修理または交換をいたします。保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお申しつけください。
- 保証期間内でも次のような場合には、有償となります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因や、塵・埃に起因する故障および損傷
 - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障および損傷
 - 当社が想定する使用環境や使用状況を逸脱した場合
 - 電池の液漏れによる故障及び損傷
 - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
 - センサー経年変化による性能劣化（測定値の変化など）
 - 外装品（液晶パネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
 - 付属品（ケーブル、取扱説明書、CD-ROMなど）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 当社指定の消耗品（電池、リモコン、タッチペンなど）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 塵・埃などの外的要因による冷却ファンの異音、回転不良
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
- 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。保証期間経過後の修理または交換については、お買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低7年間保有しています。この期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
- 修理状況や補修用性能部品の在庫切れなどにより修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただきます。
- 当社は、この製品の使用または故障により生じた直接、間接（逸失利益などを含む）のいかなる損害について責任を負いません。また、この製品の記憶装置に記録された内容の消失などについても同様です。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。



EIZO株式会社

〒 924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

www.eizo.co.jp

00N0N110C2
UM-FDS1903-A-JA